

- 中里 裕臣 (農研機構)
- 4-8 残留磁気測定を用いた地すべりブロックの評価  
木村 善和 (奥山ボーリング㈱)
- 4-9 樹脂固定法によるすべり面標本の作製とその活用  
武士 俊也 (㈱土木研究所)
- 4-10 樹脂固定すべり面標本を用いたコア観察とすべり面の認定について  
杉本 宏之 (㈱土木研究所)
- 4-11 孔内カメラ観察を用いた地すべりの内部構造の推定  
山田 政典 (応用地質㈱)
- 4-12 方位のわかるボーリングコア試料を用いたすべり面の強度特性評価  
長谷川 陽一 (国土防災技術㈱)
- 4-13 地すべりにおける調査・試験・解析について-透過X線写真を用いたすべり面の特定期例-  
持田 文弘 (応用地質㈱)
- 4-14 パッカーを使用して砂詰めで設置した挿入式孔内傾斜計計測データの特徴  
千葉 伸一 (応用地質㈱)
- 4-15 拡散レーザ変位計を用いた計測事例の紹介  
清水 順二 (明治コンサルタント㈱)
- 4-16 地震を誘因とする岩盤崩壊の発生機構とその後の変動について  
田中 靖政 (日本工営㈱)
- (現地見学会の地すべりに関する説明会)

#### ■ポスターセッション

ポスターセッションでは39件の発表があり、8月30日(木)13:15~

14:15のコアタイムを中心として活発な討論が行われた。発表では、東北日本太平洋沖地震に伴い発生した斜面災害に関する研究成果報告をはじめとして、各地で発生した斜面災害に関する研究報告があったほか、地下水の調査・解析に関する研究、融雪と地すべりにかかわる研究、新しい計測技術による地すべり挙動の把握に関する報告など多岐にわたる分野の発表があった。とくに、ボーリングコアの樹脂固定標本技術に関しては、共同研究者により8件の発表があった。会場がやや手狭だったこともあり、コアタイムには非常に多くの参加者による熱気溢れる(?)発表会となった。

また、前回大会より、若手研究者の発表奨励策の一環として優秀なポスター発表を行った若手発表者(35歳以下)の表彰を行っている。審査は、実行委員会から実行委員長を含む3名、事業計画部から事業計画部長を含む3名の計6名の審査委員により、ポスターの出来栄、発表時の応答、研究のオリジナリティについて5段階で評価を行った。この結果、以下の2名の方の受賞が決定し、それぞれ田近実行委員長から賞状と賞金が贈呈された。

#### 表彰者(順不同)

西川裕輔(株式会社日さく)

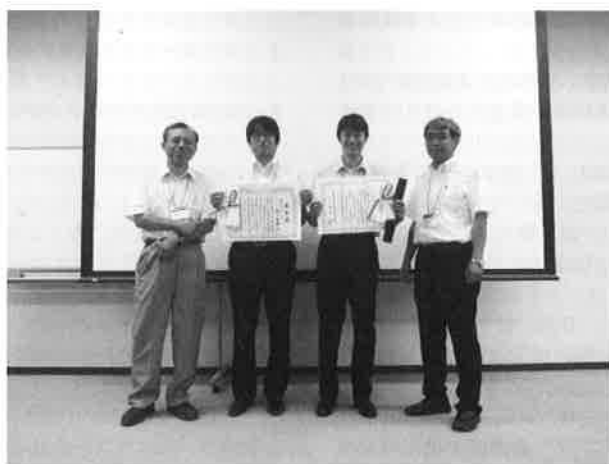
「山形県七五三掛地すべりに関する地形解析による大規模地すべり分化プロセスの推定」

(共同発表者:佐藤壽則,西元研二,古谷尊彦,寺田剛)

長谷川陽一(国土防災技術株式会社)

「単純せん断試験による結晶片岩中に形成されたすべり面(層)の残留強度評価」

(共同発表者:柴崎達也,宮本卓也,青木穂高,古谷網崇)



若手ポスター賞受賞者(写真左から榎垣学会長,西川氏・長谷川氏,田近実行委員長)

ポスター発表の発表者および発表演題は以下のとおりである。

- P-1 北海道の地すべり地形デジタルマップを用いた北海道の地すべり特性解析  
土志田 正二 (㈱防災科学技術研究所)
- P-2 山形県七五三掛地すべりに関する地形解析による大規模地すべり分化プロセスの推定  
西川 裕輔 (㈱日さく)
- P-3 月の地すべり~かぐや衛星高解像度画像・地形情報を用いたクレーターリムの地すべりと体積~見かけの摩擦係数H/L関係~  
福岡 浩 (京都大学防災研究所)
- P-4 東北地方太平洋沖地震による軟岩の崩壊の特徴  
千葉 則行 (東北工業大学)

- P-5 平成23年3月11日東北地方太平洋沖地震および4月11日の誘発地震にともなう福島県いわき市で発生した斜面変動分布  
佐藤 剛 (帝京平成大学)
- P-6 内陸における正断層地震に伴う地すべり等の特徴-2011年4月11日福島県浜通りの地震を例に  
ハス バートル (アジア航測㈱)
- P-7 地形変化と樹木移動の分析による葉ノ木平地すべりの移動プロセス推定  
鶴殿 俊昭 (㈱パスコ)
- P-8 東北地方太平洋沖地震により発生した北関東地域の斜面変動と地震動の分析  
田中 頼博 (奥山ボーリング㈱)
- P-9 2011年東北地方太平洋沖地震に伴って発生した雪割れ